

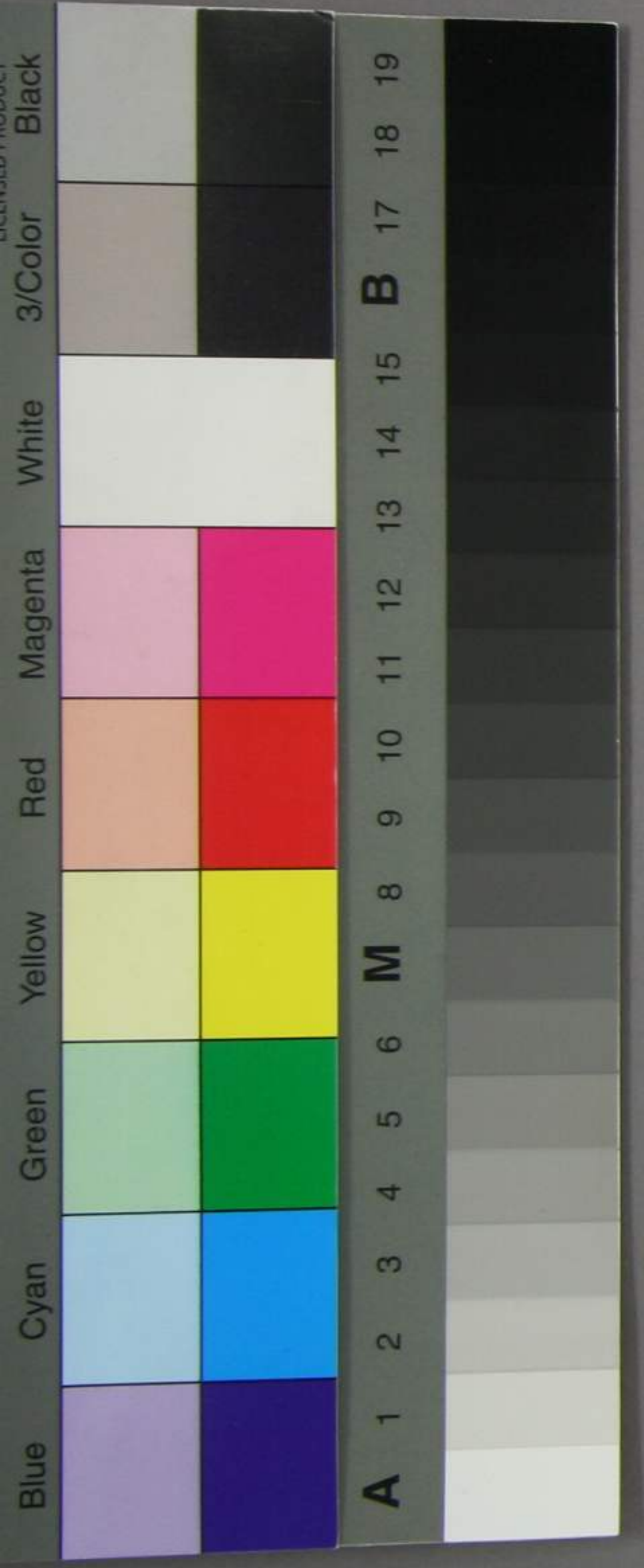
114
A3947



大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

燈明臺雇之外國人等級之儀過日
余立合之砌大隈參議セルリバーリスに約
束之所未履行無之右ハ追々切迫之
急務ニ如成月給者必要ノ入費ニ不足
不ヲ以同人共始終不平等扱キ右
食事ト隔遠之地ニ任一ト事故

英國公使館



牛肉麵包其他自國の食物調ハル
ハ毎授缺葉後之品或貯置是れが
為メ餘計の入費右懸リト右身四
等或設け事或善トハ身四等ト
月給八十圓ハ不勉強ト成功何
トメハ身三等ニ出身ト十圓ハ
加増何カ登一第ニ等ト燈明守の
頭ト月給百圓たり 身一第ト

英國ト直ニ呼寄セ一人又ハ身二
等の内ト格別ト善者有之ハ
此一等ニ加月給百二十圓ト
一去ト月ブロント氏ガ中ト立ハ外國の
燈明守別殿四人或祿命ト善者ト不
其近若ハ是近二人祿命の燈明守
ト一人或減トト入用の不ト可迴故
他ト雇ト事ト不用之ト去ト燈

明臺一ヶ所^と只一人の燈明守有之
在^りと全無之と同様有之其故とテ
ボル廻漕の間^も如何なる疾病其外
不慮之儀可生^すも難難計其外小
往渡の便り^も且又未日本の國民
小慣^らる内と下輩^も一人^も新様寂寥^の場^に在居
不在成^り且是迄出来の燈明臺海圖

小顯然たれば夫或信用^して諸人航
海^し一照消滅^{する}時^に固^き
信用致^し失^はし且難航換命の基^とも
可^し成^り一俾燈明の光り致^し各間違
照^らし^る事^に要^すと^し時^にと^し厳重の
規則^を以^て燈明守を^して其職^を奉行
皆^に起^るより他^に未^だ日本人^の教^育
之間^に修行^の經驗^を不^た非^れを^し逐一規則^を

守り課役改施行する事能くは器械
改運し水事より高取之等閑又と掃
除し拙故惣々器械を換し大金之物唯一
瞬減却する事難計依之別段
外國人四人必要候間早速可程任
株下命有之度候

一今より一年半前寺寫伊藤両君セル
ハルリーパークス相談之上取極株通ブロン

トシ氏之出張所ハ航海人ト布告文同
人之名前且片書燈明局外國長
役ト是迄之仕来ニ株然處改テブロン
トシ名前改廢し只局名耳ニ致候事
を評議ニ相成由右布告を外國人
之為メ不差出株之の事且外國ニ廻
候為メ不板行ニ相成候故成丈ケ萬國
普通之例ニ準照スル局之長官名

前^ニ争^テ可^ク差^シ出^ス答^ニ扶^ス此^レ布^告を^シ認^ム扶^ス者
セ^テブ^ロン^トン^氏ニ^テ相^違言^フニ^テ鍾^緯磁^石
ニ^テ方^向皆^同人^取調^査間^是非^共同^人
名^前も^各々^扶テ^テ不^相成^道理^を何
人^々余^々布^告を^シ中^ニ事^も認^ム不^可
可^ク相^成答^ニ候